

MASAYOSHI NEWSPAPER No.18 2023 まさよし通信



発行 鶴岡市議会議員
本間 正芳 [新政クラブ]

議員活動報告

3月議会 一般質問 教育デザインについて

学校適正配置について

本間 朝賜第三小学校と大泉小学校からの進学先、その検討状況について伺います。

教育長 令和4年2月に該当区域の町内会役員、PTA役員、合計21名に対しアンケートを実施し、全員から回答を得ました。そのうち13名が、通学区域の見直しが必要であるとの回答でした。今後は対面式による意見聴取の場を設け、具体的な問題点を整理するなど、より緻密な現状把握を行ってまいります。

本間 鶴岡型小中一貫教育の進捗状況は。

教育長 今年度に基本方針をまとめ、来年度、各中学校ブロックで具体計画を作成する予定です。この具体計画の検討において、通学区域に関する議論がなされ、地域や学校の実情に応じて対応を検討します。

本間 大泉小学校に在籍し、鶴岡第四中学校に指定されている児童について伺います。

教育長 通学区域の見直しではなく、学区外通学をこれまでの経過や地域

事情を踏まえて地理的要件で認めていくことで対応しており、今後もこの方針で進めてまいります。

本間 藤島地域教育振興会議の進捗状況について伺います。

教育長 昨年度は4回開催し、グループ協議を通して意見をいただき、検討の方向性をまとめたところですが、秋頃までに2回開催し、結論を報告書としてまとめる予定です。また、地域住民への説明会や保護者アンケートを通じて地域の声を広く聞き、議論に反映させていきたいと考えています。

HIGHLIGHT 公共施設の老朽化対策について

本間 1992年に開催された「べにばな国体」から31年目となり、あのときに建てられた施設については老朽化が進み、修繕や建て替えの陳情が数多くきています。

主なスポーツ施設と、小中学校の管理推進方法や老朽化対策について伺います。

教育長 小中学校は築後30年以上となっている学校が過半数を超えており、中長期的な維持管理費用の縮減及び平準化を図るため、鶴岡市学校施設長寿命化計画を策定し5年ごとに見直しています。劣化が進んでいる部分や建築年数が古い施設から改修等を実施しており、比較的新しい学校施設に対しては、施設の長寿命化を図り、80年程度建物を使用できるようにしたいと考えています。

スポーツ施設については、修繕箇所をリストアップし、優先順位を決めながら、施設の機能維持に努めています。小規模で緊急性のある修繕については、管理運営業務委託の中で指定管理者が

対応し、それ以外の修繕や改修工事等については、市が直接予算の範囲内で順次対応をしています。

本間 このまま人口減少が進めば、市の税収が減り、その結果、公共施設の運営は難しくなると思います。そのときに備え、どのような対策を考えているのか伺います。

教育長 公共施設等の総量の適正化や、安全性と利便性の確保及び、計画的な投資により、更新費用の軽減、平準化を図ることを基本原則としており、小中一貫教育の在り方なども含め、広く利用者のニーズに沿った施設全体の見直しについても検討を進めてまいります。

本間 鶴岡型小中一貫教育基本計画の検討や、藤島地域教育振興会議の結論の前に、学校も計画づくりに参加させてはいかがでしょうか。

老朽化対策については、人口減少にともない今後公共施設を使用する人が減ることは明らかです。空き教室の活用、プールの共用、スポーツ施設の閉

鎖や民間への払い下げ、補助金の削減なども考えていかなければならない時代が来ることも視野に入れながら老朽化対策を進めてほしいと思います。

その他

中学校部活動の地域移行に関する進捗状況と新年度の対応について

- ①各中学校が考えた具体的な方策
- ②中学校体育連盟と各種スポーツ団体の立ち位置
- ③各地区、各学校の改革の課題

—— 質問しました。

本間まさよしの
一般質問の録画映像を、
下のQRコードから
ご覧いただけます。

鶴岡市議会では本会議の
録画データ配信を行っております。

YouTube (ユーチューブ) を
利用して配信しております。
録画中継の公開期間は
1年間とさせていただきます。



6月議会 一般質問 中学校部活動改革について

地域移行に関する進捗状況

本間 期間中の地域移行の実現が困難だとする自治体の声を踏まえ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すとして新ガイドラインが公表されました。これを踏まえ、鶴岡市の11の中学校区でどのような話し合いがなされたのか伺います。

教育長 各学校は改めて部活動連絡協議会等を開催するなど、令和5年度以降の部活動運営の在り方について。また円滑な地域移行のためのよりよい方法について話し合いがなされています。

本間 各学校の動向、4月1日からの準備について伺います。

教育長 一中、二中、三中、四中、温海中は、ほとんどの部活動が保護者会クラブへの移行を検討。五中、藤島中は、既に多くの部活動が総合型地域スポーツクラブに移行。豊浦中は、総合型地域スポーツクラブか保護者会クラブのいずれかへの移行を検討している部活と、土・日は民間クラブに所属して活動していく部活がある。羽黒中は基本的には保護者会クラブへ移行。櫛引中

はスポーツ少年団に多くの部活動が加盟して活動。朝日中は総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団、保護者会クラブが受皿となり、休日の部活動の地域移行を早期に実現し、取り組んでいる状況です。

4月1日からの準備については、早くは3月から動き始め、4月の休日から活動するために移行する団体への登録等の手続を進めていくことになります。

学校と移行先となる団体との連携を図り、移行先の団体の支援や経済的に困窮する世帯への支援等も実施しながら、部活動改革を推進してまいります。

本間 部活動に所属しない生徒の動向は。また、中学生を対象とする民間クラブや団体、習い事、塾等についてはどのぐらい周知されているのか伺います。

教育長 部活動は任意加入制を導入しており、昨年度の調査では、各学校の約1割が民間クラブのみに所属しており、無所属の生徒も少なからずいます。部活動の地域移行に伴い、生徒が自分ができるようにするために、今後、周知の方法についても検討してまいります。

本間 地域移行することで子供たちに目が届きにくくなる部分が多くなると思います。生徒指導への方策はどのように考えているのか。また、中体連の大会や文化部の大会等の参加について伺います。

教育長 休日の活動を実施している団体と学校が、生徒指導上の課題や目標、ビジョンを共有し合い、一体となって子供たちを育むよう努めていくことも方策の一つであると考えています。

大会等の参加については、学校の部活動として参加する場合は、今までどおり。民間クラブで出場する場合は、所属クラブが県中体連の登録要件を満たし、登録が認められることが条件となります。

本間 これからの中学部活動は、スポーツ活動や文化活動をどうするかだけでなく、中学生の生活をどうするかというところまで刺さらなければならなくなったと思います。

鶴岡の中学生が、鶴岡らしいものを大事にして、それを前面に出していただきたいと思います。



その後について¹⁵ 人工芝グラウンド

県立鶴岡病院の解体跡地 人工芝サッカー場整備へ

人工芝グラウンド(サッカー場)への視察が、7月25日に鶴岡市高坂にある旧県立鶴岡病院跡地(解体前)で行われました。市の整備計画案では、メインコート1面とサブのコート(フットサルサイズ)の2面としていましたが、鶴岡地区サッカー協会としては、サブコートは少年サッカー用コート1面とし、メインコートと合わせて、少年サッカー用コートとして3面使用できるように要望しています。市整備計画案では、この他にも管理人室や会議室、倉庫トイレなども備える平屋建て管理棟、夜間照明設備、240台分の駐車場も設けるとのことでした。その後、市跡地活

用検討委員会の第2回会合が行われ、サブコートが2倍近い広さとなるコート配置が可能か、市側で検討することになりました。その他にも傾斜地を利用した観覧スペースや遊具、多目的ゾーン、屋根付き休憩スペース等の意見も出ていました。サッカー場整備については、基本・実施計画を2025年度までに終え、建築・外構工事は25年～27年度に行い、2027年度中の利用開始を見込んでいます。あとひと押し頑張りたいです。



解体前の鶴岡病院跡地の視察

ほん ま まさよし
本間正芳 プロフィール 昭和31年生まれ/昭和44年 鶴岡市立朝陽第三小学校卒業/昭和47年 鶴岡市立鶴岡第二中学校卒業/昭和50年 山形県立鶴岡工業高等学校卒業/昭和55年 早稲田大学教育学部体育学専修卒業/昭和58年 山形県公立学校教諭(小名部小→朝三小→鶴岡市教育委員会→朝二小→黄金小教頭→大綱小校長→朝日小校長→羽黒二小校長)/平成29年 鶴岡市立朝陽第四小学校 校長で退職/平成29年 鶴岡市議会議員選挙初当選(現在2期目)/平成31年 鶴岡地区サッカー協会副会長
 【議会での主な役職】▶市民文教常任委員会副委員長 ▶広報広聴委員会委員長 ▶人口減少・地域活性化対策特別委員